

指定管理施設事業評価票(平成30年度分)

1. 施設所管課 教育委員会事務局生涯学習課

2. 指定管理施設概要

施設名	名称	日光市小杉放菴記念日光美術館			
	所在地	日光市山内2388-3			
指定管理者	名称	公益財団法人 小杉放菴記念日光美術館			
	代表者名	理事長 齋藤孝雄			
	住所	日光市山内2388-3			
指定期間		平成21年4月1日	～	平成31年3月31日	10年間
選定方法		非公募	評価実施年	10年間のうち10年目	
施設設置目的		日光市ゆかりの画家小杉放菴を中心とした美術作品及び資料の収集、展示等を行い、市民の美術に関する知識と教養の向上を図り、文化の振興発展に寄与する。			
主な実施事業		(1) 美術品及び美術に関する資料を収集し、保管し、展示すること。 (2) 美術に関する専門的な調査研究を行うこと。 (3) 美術に関する展覧会、講演会、講習会、映写会等を開催すること。			

3. 利用状況(目標と実績)

成果指標		単位	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
a	入館者数	人	11,300	10,077	11,200	10,295	10,250	11,594	11,016	13,424	10,500	9137
b	アンケートの実施(満足度)	%	70	97	80	98	80	70	80	85.2	80	81.4
c	入館料	円	3,300,000	3,056,650	3,300,000	3,375,730	3,300,000	3,945,540	3,300,000	4,321,750	3,500,000	2451340
d												
e												

4. 指定管理業務にかかる収支状況

区分		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
収入計 A		66,034,958	64,918,695	71,186,730	68,366,923	64,232,333
	指定管理料	56,959,000	56,054,000	56,054,000	56,054,000	56,054,000
	利用料収入 C	3,056,650	3,375,730	3,945,540	4,321,750	2,451,340
	自主事業収入	1,851,480	633,270	990,550	1,441,220	469,890
	その他	4,167,828	4,855,695	10,196,640	6,549,953	5,257,103
支出計 B		65,762,107	61,795,712	67,977,282	64,882,965	65,088,390
	指定事業費	63,335,507	60,771,512	67,425,178	63,778,405	64,815,190
	内人件費 D	26,793,563	247,746,592	26,508,572	21,893,646	21,916,802
	内外部委託費 E					
	自主事業費	2,426,600	1,024,200	552,104	1,104,560	273,200
事業収支 A-B		272,851	3,122,983	3,209,448	3,483,958	-856,057
人件費率 D/B		40.74%	400.91%	39.00%	33.74%	33.67%
外部委託比率 E/B		0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%

※着色セルは、自動計算としている。

補足説明	
------	--

サービス改善の状況

正月特別開館の際、エントランスホールにおいてどなたでも参加できるワークショップを開催した。
カフェの新メニューを考案し提供した。

5. 管理運営状況

評価項目	評価基準	指定管理者 評価	所管課評価
① サービスの履行 の確認	法令に基づいた点検、報告の実施、個人情報への配慮、保守点検、清掃等の日常業務、緊急・災害時の市への円滑な連絡と協力等、業務の実施状況についての評価を行う。	B	B
② サービスの質の 評価	事故防止、安全確保、環境への配慮、利用者に対する接遇、苦情処理への適切な対応等、利用者に提供するサービスの質の水準を評価する。	B	B
③ サービスの安定性 の評価	専用の口座、帳簿等を備え、収支計画に沿って適切に経理、予算決算処理がなされているか評価を行う。	B	B
指定管理者所見 (成果、課題等)	【成果】 1 企画展の開催 ・夏休み期間の企画として、かつて小杉放菴も会員だった、日本で唯一の公的な芸術栄誉機関である日本芸術院の所蔵作品から、横山大観や竹内栖鳳をはじめ、放菴と同時代に活躍した美術家たちの作品を中心に紹介する「創立99年 日本美術の精華 日本芸術院所蔵作品名品展」を開催し2,353人の入館を得た。 ・秋の観光シーズンの企画として、ひとりのコレクターの審美眼によって蒐集された明治・大正・昭和の美人画コレクションを紹介する「美人画の四季 培広庵コレクション展」を音声ガイドを導入しつつ開催し1,976人の入館を得た。 ・春休みから5月の大型連休にかけての企画として、スロヴァキア共和国の首都ブラティスラヴァで2年ごとに開催される、世界最大規模の絵本原画コンクールの受賞作と日本からのノミネート作品を紹介する「ブラティスラヴァ世界絵本原画展 BIBで出会う絵本のいま」展を開催し、3月23日から開催し599人の入館を得た。 2. 教育普及事業の促進 日光市教育委員会生涯学習課との連携事業「移動美術展」の開催に合わせた出前授業を積極的に実施するとともに、小中学校のニーズに合わせた鑑賞教室やワークショップを開催した。また、同課からの受託事業として、前年度に引き続き日光美術展「日光あーとさんぽ」事業を実施したほか、「ふくろうの森手塚登久夫石彫館」開館に伴い展示等業務を実施した。 また、正月特別会館期間中にワークショップを開催した。 3. 舞台芸術鑑賞事業の実施 美術だけでなく、さまざまな芸術文化の催しに触れる機会を提供するため、クラシックなどの音楽ステージや演劇などの舞台芸術鑑賞事業を定期的に開催した。 4. 地域連携事業 「キリフリ谷の藝術祭」コンサートの開催や「日光鉢石宿のおひなさま」への参加、他、地域の自治会のニーズに対応したワークショップを開催するなど、地域との連携を図った。 5. 経費削減 電気供給事業者を新電力事業者に切り替えたことにより、電気料の削減を図ることができた。 【課題】 支出が収入を上回っているが、BIB展の負担金を前払いしたことによるものであり、今後の施策としては次のとおりである。 1. 美術に関する教育普及事業における児童生徒の利用促進 児童生徒が興味関心の持てる美術鑑賞教室が提供できるよう、各学校へ個別にPRを引き続き積極的に行なうほか、ワークショップの内容の充実を図り教育普及に努める。 2. 舞台芸術鑑賞事業の充実 利用者のニーズを踏まえ、様々な分野のテーマをバランス良く取り上げ、質の高い舞台芸術鑑賞の機会を企画するとともに、地域で活動するアーティストを積極的に活用する。 3. カフェ前にサイクルラックを設置し、サイクリストの利便性の向上を図るほか、夏季期間の休館日にカフェをオープンし観光客の利便性向上を図る。		
施設所管課所見 (成果・課題等)	・美術館の改修工事やくん蒸により約1カ月程休館になったにも関わらず、企画展3回、常設展4回 計7回の展覧会を開催した。計画よりも展覧会を1回多く開催することができた。また、芸術文化の普及事業においては、年間90回以上開催するなど、市民等の美術に関する知識と教養の向上、地域文化の振興発展を図るための事業を展開することができた。しかし、美術館の入館者数、入館料収入とともに目標値を大幅に下回り、1日当たりの入館者数については37.4人と過去5年間で最も低い数値となってしまった。今後は市民のニーズに合った事業を展開するとともに、広報や宣伝活動に力を入れるなど入館者数、入館料増を図るための対策を講じる必要がある。 ・光熱水費においては、電気料金の見直しを行い、電力会社を変更することにより、基本料金単価を71%削減することができたことは大いに評価できる。 ・利用者アンケート調査については、利用者満足度は目標値を上回ることができたが、昨年度より3.8%減少してしまっている。アンケート調査内容を分析し、利用者のニーズを把握しながら業務を遂行してほしい。		
前年総合評価	B(良好)	総合評価 ※3段階評価	B(良好)

※評価区分

評価基準	A (優良) = 協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。
	B (良好) = 協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。
	C (要改善) = 一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。
※施設所管課は、指定管理者に対するモニタリングや事業報告書の内容等を踏まえ、評価します。	
総合評価	A (優良) = 自己評価、所管課評価の《総括》にCが含まれず、かつAが4つ以上ある。
	B (良好) = A、C以外
	C (要改善) = 自己評価、所管課評価の《総括》にCが2つ以上含まれる。